

II 国語

正答表並びに採点上の注意 追検査

(令和四年度)

問三								
(ケ)	(ク)	(キ)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
2	3	4	2	1	3	2	4	1
4点	4点	4点	4点	4点	4点	2点	2点	2点

問二					
(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
1	2	4	2	1	3
4点	4点	4点	4点	4点	4点

問一								
(ウ)	(イ)				(ア)			
	d	c	b	a	d	c	b	a
4	1	4	2	4	3	2	1	3
4点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点

問五																																									
(イ)	(ア)																																								
<p>シエアリングサー ビスの広まりには、 人々の幸福に対す る考え方が</p> <table border="1"> <tr> <td>快</td><td>適</td><td>な</td><td>生</td><td>活</td> </tr> <tr> <td>に</td><td>魅</td><td>力</td><td>を</td><td>感</td> </tr> <tr> <td>じ</td><td>る</td><td>な</td><td>ど</td><td>多</td> </tr> <tr> <td>様</td><td>化</td><td>し</td><td>、</td><td>高</td> </tr> <tr> <td>価</td><td>な</td><td>も</td><td>の</td><td>の</td> </tr> <tr> <td>所</td><td>有</td><td>だ</td><td>け</td><td>を</td> </tr> <tr> <td>重</td><td>視</td><td>し</td><td>な</td><td>く</td> </tr> <tr> <td>な</td><td>っ</td><td>た</td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>ことが背景にある と考えられます。</p>	快	適	な	生	活	に	魅	力	を	感	じ	る	な	ど	多	様	化	し	、	高	価	な	も	の	の	所	有	だ	け	を	重	視	し	な	く	な	っ	た			3
快	適	な	生	活																																					
に	魅	力	を	感																																					
じ	る	な	ど	多																																					
様	化	し	、	高																																					
価	な	も	の	の																																					
所	有	だ	け	を																																					
重	視	し	な	く																																					
な	っ	た																																							
6点	4点																																								

(イ)は正答例。

問四			
(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
2	3	4	1
4点	4点	4点	4点

採点上の注意

【問題全般について】

- 中間点は、問五(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。

【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば、正答として六点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず二点減点とする。
- 表現に問題があり、それによって明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず二点減点とする。表現の問題については、複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 中間点は、誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）がある場合と、表現に問題がある場合の減点以外は設けないこと。したがって、中間点は四点または二点となる。
- 指定語句がある場合、その語句が含まれていない解答は誤答とする。

○ 問五(イ)について

- ・ 指定語句は「所有」である。

得点項目A

内容については、次の二点に触れていること。

- (あ)「人々の幸福に対する考え方が」多様化した（様々になった）こと。
- (い)「人々が幸福を」高価なものを所有することだけに求めなくなった」こと。

〈正答例〉

シェアリングサービスの広まりには、人々の幸福に対する考え方が別荘など高価なものを所有するだけでなく、快適な生活を重視…するなど多様化したことが背景にあると考えられます。